

# 環境報告書におけるLCA結果の発表例

## アイカ工業(接着剤)



## 富士通(ノートPC)

### 環境負荷の統合化、金額換算

環境負荷評価として、従来のようにCO<sub>2</sub>などの個別指標ごとに見るのではなく、複数のインベントリデータ(ライフサイクル全般における0物質、08物質)をベースにすべての物質の環境影響をわかりやすい金額に換算する総合的な環境負荷評価を、富士通研究所と共同で行いました。

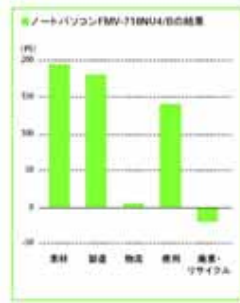
評価手法として、CO<sub>2</sub>などの環境負荷が遠

程化やオゾン層破壊などに与える影響を科学的に分析し、さらに人間の健康や生態系といった保護対象ごとに被害度を算定し、重み付けなどを行った上で単一指標化を行う「LIME」を採用しました。

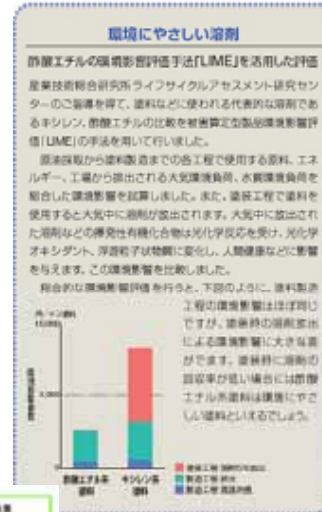
類似LIME(Life cycle impact assessment Method based on Endpoint modeling)、独立行政法人産業技術総合研究所ライフサイクルアセスメント研究センターがLCA国家プロジェクト(経済産業省、NEDO、産業環境管理協会)と連携して開発した手法

### 【環境負荷の金額換算】

各ステージの環境負荷評価を行った結果、最終製造段階での環境負荷が大きく、トータルで311円となりました。ノートパソコンは、ライフサイクル全体で社会に311円の被害を与えたことになりました。



## 協和発酵(塗料)

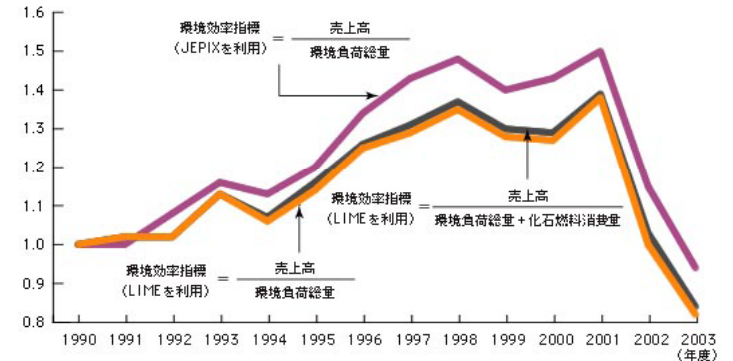


## トステム(サッシ)



## 東京電力(電力)

### 環境効率指標の推移(1991年を1とした場合)



## ユニチャーム(おむつ)



## 中部電力(電力)



## キャノン(プリンタ)

### トピックス 新しい環境パフォーマンス手法「LIME」

キャノンでは、1999年よりLCA手法を用い、製品のライフサイクル全体における環境影響の公開を行っています。今回、経済産業省支援によるLCAプロジェクトで開発した手法「LIME」を用いて地球温暖化やオゾン層破壊、酸性化などのさまざまな環境影響の統合評価をインクジェットプリンタにて試行したところ、2003年製品は2000年製品に比べて7%改善されていました。

今後も環境パフォーマンス手法の研究・実用化を図っていきます。

※LIME(Life cycle impact assessment Method based on Endpoint modeling)日本国環境省支援型評価手法

1999年度から5カ年間にわたるLCAプロジェクトにより開発された手法で、さまざまな環境影響を人間健康や社会資源などの保護対象への影響を統合した手法。キャノンはLIMEの手法を学び、活用を検討するLCA特別研究会に参加し事例研究を行っている。

